



「わからない」が言える

校長 見原 仁

上記の写真は、6月5日に行われた4年1組の算数授業の様子です。授業をどう進めればより子どもの学びが深まるのかを研修するために、全職員が子どもたちの学ぶ様子を参観しました。放課後、職員でこの授業を基に協議会を行いました。先月の学校だよりでお伝えしたとおり、より楽しい授業を、学ぶ意欲を高める授業を目指し、今後も研修を積み重ねてまいります。

5月中旬、6年生3人が私のところにインタビューに来ました。国語「インタビューをして、自分の考えと比べながら聞こう」の学習で私にインタビューに来たのです。とても内容の濃いいくつかの質問の中でこのような質問がありました。

「校長先生が幸せだと思うときはどんな時ですか？」

私はこう答えました。

「授業中に『わかった！』『そうか！』という声が聞こえたときです。」

私は担任の頃からそう思っていました。クラスの中の一人でもいいから、この言葉を発してくれれば嬉しい、といつも思っていました。残念ながらあまり聞くことはできませんでしたが、その感覚は未だに抜けません。

ところで、「わかった！」という思いに至る前に、「わからない」という状態が必ずあります。この「わからない」というところでどうするか、これがとても大切です。「恥ずかしいから黙っていよう。」「わかったふりをして、その場をやり過ごせばいい。」というのが人間の心理。しかし、それでは「わかった！」という爽快感を味わえないのです。

だから、「わからない」ということを友達、先生に言えることがとても大事です。その時に、友達や先生が「どこがわからないの？」と聞いてもらえれば、わからないところが明確になります。すると、教えてもらうことが理解しやすくなるはずで、そして、わかったときには、本当に嬉しい気持ちを味わえるのです。

6月の全校朝会で、「『わからない』ということとは、恥ずかしいことではなくとてもいいことなのです。『わからない』ということ友達、先生に言えるようになりましょう。」と子どもたちに話しました。上記の4の1の授業では、「わからない」という子どもの声が聞こえました。

「わからない」が言えること自体が素晴らしいことです。学校では、今後もこのような環境作りに努めてまいります。また、「わからない」と言う子どもの勇気を称え、褒め、その上で、何がわからないのかを尋ねる。「わからない」を聞いたのが大人であれば当たり前ではないでしょうか。ご家庭でもこのような受け止めをしていただければ幸いです。



ほ う な い

第3号

村上市立保内小学校

強い力 豊かな心

〒959-3107

村上市下鍛冶屋 264-2

TEL 0254-62-2302

FAX 0254-62-5553

school@honaiemurakamied.jp

6年生が修学旅行へ行ってきました！



カモメにえびせんをあげました



わかりやすく教えていただきました



丁寧に作り上げました



こんなに暗いところで作業していたのですね



おいしい料理に舌鼓



鬼太鼓に参加させていただきました

5月23日（木）～24日（金）に、6年生が佐渡島へ修学旅行に行きました。

まず新潟へとバスで向かい、バスに乗ったままカーフェリーに乗船しました。船内ではカモメにえびせんをあげたり、トランプ等で班の友達と遊んだりしました。

佐渡に上陸し、最初に潮津の里で体験活動（石細工、トキベエ作り）をしました。指導してくださった方からは「これまでの中でトップクラスです」とお褒めの言葉もいただきました。その後、きらりうむ佐渡へ行き、佐渡の金銀に関する歴史を学び、続いて、佐渡金山へ行きました。金山の採鉱の様子を動く人形を見たり、お土産を買ったりしました。

1日目の活動を終え旅館へ。休憩した後、夕食をいただきました。子どもたちは食欲旺盛。おいしい料理をたくさんいただきました。夕食後、地元の青年団の方が鬼太鼓を披露



していただきました。その上、提灯をもって鬼太鼓に参加させていただいたり、太鼓を叩かせていただいたりしました。大変盛り上がった鬼太鼓でした。

2日目は、最初にモーターボート、たらい舟に乗りました。モーターボートは、かなりのスピードで海上を進みました。爽快感のある乗船体験でした。たらい舟は、なかなか前に進まず苦勞していましたが、乗り心地を楽しんでいるようでした。その後、西三川ゴールドパークで砂金採りをしました。子どもたちの集中力は素晴らしかったです。全員が砂金を採ることができました。最後に、トキの森公園へ行き、佐渡とトキのつながりに関する資料を見た後、本物のトキを観察しました。両津港では、家族へのお土産を買って、ジェットfoilに乗船しました。その後、新潟からバスで学校へ戻って解散式を行って、全員無事帰宅しました。

「子どもたちのあいさつの良さと、マナーの良さに感心しました」と佐渡の方がおっしゃっていました。社会性を身に付けるよい機会にもなりました。

2日間、大きな体調不良もなく元気に旅行を終えることができました。ご家族の皆様の旅行準備等のおかげです。感謝申し上げます。

2年生が野菜の苗を植えました



5月中旬、2年生が野菜の苗を植えました。地域の方に耕していただいた畑に、用務員さんが畝をつくり、そこに苗を植えました。植えた野菜は、オクラ、キュウリ、ピーマン、ナス、サツマイモです。その後、自分の鉢にミニトマトを植えました。最後に、ボランティアの方々に礼を言ってお別れしました。

この日は老人クラブの方々を中心に10名ものボランティアがいらっしやり、子どもたちの苗植えをお手伝いいただきました。心より感謝申し上げます。また、畑を耕していただいた地域の方にも感謝申し上げます。

鉢植えのミニトマトは、毎日観察したり水やりをしたりする様子が見られます。畑の野菜も観察をしています。この後、どのように育っていくのか楽しみです。

4年生がゴミ処理場の見学に行ってきました



6月6日(木)、4年生はゴミ処理場(エコパークむらかみ)に見学へ行きました。まず、ゴミ処理場の施設の様子を映像で見せていただきました。次に、施設内を実際に見学しました。ゴミを運ぶクレーンの様子や、ゴミ収集車が実際にゴミピットにゴミを落とす様子を見学しました。ゴミを燃やしている映像も見せていただき、焼却炉の温度についても教えていただきました。また、ゴミを燃やした熱を再利用して、蒸気でタービンを回し発電していることも教えていただきました。初めてのゴミ処理場見学に、子どもたちは大変興味を示し、一生懸命話を聞いていました。学びの多い見学となりました。

子どもたちは、この後、燃やした灰はどうするのか、資源ゴミの行方、ゴミを減らすために自分たちでできることなどについて学びを進めていきます。